



北海道の運輸の動き



～月別データで示す北海道の運輸産業～

令和4年5月発表

概況

1. 旅客輸送

令和4年2月の鉄道の旅客数は、JR北海道で対前年同月比9.0%減、対2019年同月比41.3%減、地下鉄で対前年同月比5.3%増、対2019年同月比23.5%減、路面電車で対前年同月比7.4%増、対2019年同月比30.7%減となった。

令和4年1月のバスの旅客数は、乗合バスで対前年同月比48.7%減、対2019年同月比64.3%減、貸切バスで対前年同月比8.5%増、対2019年同月比58.7%減となった。

令和4年1月のハイヤー・タクシーの旅客数は、対前年同月比6.9%増、対2019年同月比38.4%減となった。

2. 貨物輸送

令和4年2月のトラック（一般貨物）の輸送量は、対前年同月比10.8%減、対2019年同月比15.6%減となった。

令和4年2月の港湾運送（内航）の輸送量は、対前年同月比0.7%増となった。また、対2019年同月比は1.9%減となった。

3. 観光

令和4年2月の道内延べ宿泊者数は、対前年同月比44.3%増となった。また、対2019年同月比は50.3%減となった。

4. 車両数

令和4年3月の新車登録台数等の対前年同月比について、乗用自動車（普通・小型）は12.5%減、乗用自動車（軽）は24.8%減、貨物自動車は24.6%減、貨物自動車（軽）は2.8%減となった。

また、対2019年同月比について、乗用自動車（普通・小型）は24.9%減、乗用自動車（軽）は25.6%減、貨物自動車は24.6%減、貨物自動車（軽）は10.1%減となった。

北海道運輸局

交通政策部 交通企画課






〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目

電話 011-290-2721







FAX 011-290-2716

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/>

1. 旅客輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR北海道	▲ 9.0	8.1	21.4
	地下鉄	5.3	13.9	20.6
	路面電車	7.4	17.8	18.8
	乗合バス	▲ 48.7	6.2	▲ 3.7
	貸切バス	8.5	26.3	▲ 6.8
	ハイヤー・タクシー	6.9	25.9	20.7
	内航フェリー	3.8	31.5	36.3
	外航フェリー	-	-	-
	国内線	59.6	134.3	110.3
	国際線	-	-	-



2. 貨物輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR貨物	▲ 31.4	9.3	0.0
	特別積合	▲ 0.6	0.3	0.7
	一般貨物	▲ 10.8	▲ 8.5	▲ 7.4
	ターミナル	▲ 0.2	1.5	7.3
	内航	0.7	0.0	1.0
	外航	15.1	▲ 1.0	18.5
	内航コンテナ	▲ 1.9	▲ 5.9	▲ 19.5
	外航コンテナ	7.3	8.6	▲ 18.7
	海峡	5.9	4.9	9.0
	中・長距離	4.7	▲ 3.3	4.2
	国内線	22.1	1.7	1.3
	国際線	▲ 63.2	▲ 49.7	▲ 37.3
	普通倉庫	11.6	▲ 8.3	6.5
	貯蔵槽倉庫	▲ 12.7	23.5	▲ 22.0
	冷蔵倉庫	2.1	▲ 1.1	1.5

3. 観光

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	延べ宿泊者数	44.3	95.2	112.7

4. 車両数

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	新規登録(乗用)	▲ 12.5	▲ 15.1	▲ 1.7
	新規届出(軽自動車)	▲ 24.8	▲ 19.4	▲ 20.6
	新規登録(貨物)	▲ 24.6	▲ 18.4	▲ 2.6
	新規届出(軽自動車)	▲ 2.8	2.2	22.4

※ 詳細は「モード別実績」のとおり

※ 営業倉庫については、四半期毎の集計
 今月掲載データは令和3年度第3四半期(令和3年10月～令和3年12月)分

<凡例>






「当月」はR4.3	「当月」はR4.2	「当月」はR4.1	「当月」はR3.12

目 次




I. 概況	1p	III. 貨物輸送		IV. 観光	
II. 旅客輸送		1. 鉄道	9p	1. 延べ宿泊者数	17p
1. 鉄道		2. 自動車		V. 車両数	
・JR北海道、北海道新幹線、民鉄	2p	・特別積合	10p	1. 旅客自動車	
・地下鉄	3p	・一般貨物	10p	・保有台数	18p
・路面電車	3p	・ターミナル	10p	・新規登録(乗用)	18p
2. 自動車		3. 港湾運送		・新規届出(軽自動車)	18p
・乗合バス	4p	・内航、外航	11p	2. 貨物自動車	
・貸切バス	4p	・内航、外航コンテナ	12p	・保有台数	19p
・ハイヤー・タクシー	5p	4. 船舶		・新規登録(貨物)	19p
3. 船舶		・海峡	13p	・新規届出(軽自動車)	19p
・内航フェリー	6p	・中・長距離	13p		
・外航フェリー	6p	5. 航空			
4. 航空		・国内線	14p		
・国内線	7p	・国際線	15p		
・国際線	8p	6. 営業倉庫			
		・普通倉庫	16p		
		・貯蔵倉庫	16p		
		・冷蔵倉庫	16p		

I. 概況

1. 旅客輸送





	JR北海道	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比9.0%減、このうち北海道新幹線の輸送人員は同31.8%増となった。また、対2019年同月比は41.3%減、このうち北海道新幹線の輸送人員は同70.7%減となった。
	地下鉄	・札幌市営地下鉄における取扱い輸送人員は、対前年同月5.3%増、このうち定期旅客は同4.1%減、定期外旅客は同10.3%増となった。また、対2019年同月比は23.5%減、このうち定期旅客は同24.4%減、定期外旅客は同23.2%減となった。
	路面電車	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比7.4%増、このうち札幌市は同8.6%増、函館市は同4.3%増となった。また、対2019年同月比は30.7%減、このうち札幌市は同21.7%減、函館市は同47.8%減となった。
	乗合バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比48.7%減、このうち定期旅客は同48.6%減、定期外旅客は同48.7%減となった。また、対2019年同月比は64.3%減、このうち定期旅客は同64.0%減、定期外旅客は同64.3%減となった。
	貸切バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比8.5%増となった。また、対2019年同月比は58.7%減となった。
	ハイヤー・タクシー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比6.9%増、このうち札幌交通圏は同5.6%増となった。また、対2019年同月比は38.4%減、このうち札幌交通圏は同38.1%減となった。
	内航フェリー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比3.8%増、このうち道内相互間は同11.0%減、道内一道外間は同6.0%増となった。また、対2019年同月比は31.1%減、このうち道内相互間は同41.7%減、道内一道外間は同29.5%減となった。
	外航フェリー	・外航フェリーの運航実績は無かった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送人員は、対前年同月比59.6%増、このうち新千歳～東京(羽田)は同26.3%増となった。また、対2019年同月比は63.4%減、このうち新千歳～東京(羽田)は同68.8%減となった。
	国際線	・国際線の運航実績は無かった。

2. 貨物輸送


	JR貨物	・北海道内における取扱い輸送量は、対前年同月比31.4%減となった。また、対2019年同月比は39.0%減となった。
	特別積合	・北海道内主要事業者(7社)における取扱い輸送量は、対前年同月比0.6%減、このうち宅配貨物取扱個数は同1.9%増となった。また、対2019年同月比は17.4%減、このうち宅配貨物取扱個数は同31.8%増となった。
	一般貨物	・北海道内主要事業者(125社)における取扱い輸送量は、対前年同月比10.8%減となった。また、対2019年同月比は15.6%減となった。
	ターミナル	・北海道トラックターミナル(株)における取扱い輸送量は、対前年同月比0.2%減となった。また、対2019年同月比は7.0%増となった。
	内航	・北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比0.7%増となった。このうち移出は同1.7%増、移入は同0.2%減となった。また、対2019年同月比は1.9%減、このうち移出は同0.4%減、移入は同3.2%減となった。
	外航	・北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比15.1%増、このうち輸出は同8.1%増、輸入は同16.5%増となった。また、対2019年同月比は14.4%増、このうち輸出は同24.6%減、輸入は同26.6%増となった。

<凡例>



R4.3	R4.2	R4.1	R3.12
------	------	------	-------

	内航コンテナ	・北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比1.9%減となった。また、対2019年同月比は5.3%減となった。
	外航コンテナ	・北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比7.3%増となった。また、対2019年同月比は0.4%減となった。
	海峡	・海峡航路における取扱い輸送量は、対前年同月比5.9%増、このうち下りは同4.0%増、上りは7.6%増となった。また、対2019年同月比は0.7%増、このうち下りは同1.7%減、上りは同3.1%増となった。
	中・長距離	・中・長距離航路における取扱い輸送量は、対前年同月比4.7%増、このうち下りは同5.4%増、上りは同3.8%増となった。また、対2019年同月比は2.8%増、このうち下りは同2.5%増、上りは同3.0%増となった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送量は、対前年同月比22.1%増、このうち新千歳～東京(羽田)は同9.1%増となった。また、対2019年同月比は34.7%減、このうち新千歳～東京(羽田)は同37.0%減となった。
	国際線	・新千歳空港における取扱い輸送量は、対前年同月比63.2%減、このうち定期便及びチャーター便は同84.4%減、保税運送物は同111.0%増となった。また、対2019年同月比は57.4%減、このうち定期便及びチャーター便は同83.1%減、保税運送物は同436.5%増となった。
	普通倉庫	・札幌市所在主要事業者(19社)における入庫高は、対前年同月比11.6%増、保管高は同6.1%減、当期末の利用率は84.4%となった。また、対2019年同月比は、入庫高は13.0%減、保管高は22.1%減となった。
	貯蔵槽倉庫	・北海道内主要事業者(20社)における入庫高は、対前年同月比12.7%減、保管高は同10.2%増、当期末の利用率は64.5%となった。また、対2019年同月比は、入庫高68.8%増、保管高は11.8%減となった。
	冷蔵倉庫	・札幌市所在主要事業者(23社)における入庫高は、対前年同月比2.1%増、保管高は同1.8%増、当期末の利用率は30.6%となった。また、対2019年同月比は、入庫高は0.5%増、保管高は1.0%増となった。

3. 観光

	延べ宿泊者数	・北海道内における延べ宿泊者数は、対前年同月比44.3%増、このうち日本人は同44.4%増、外国人は同25.7%増となった。また、対2019年同月比は50.3%減、このうち日本人は同24.4%減、外国人は同99.6%減となった。
---	--------	--

4. 車両数

	新規登録(乗用)	・北海道内における登録台数は、対前年同月比12.5%減となった。また、対2019年同月比は24.9%減となった。 ・北海道内における自動車保有台数(普通・小型車)は、対前年同月比0.6%減となった。また、対2019年同月比は1.8%減となった。
	新規届出(軽自動車)	・北海道内における届出台数は、対前年同月比24.8%減となった。また、対2019年同月比は25.6%減となった。
	新規登録(貨物)	・北海道内における登録台数は、対前年同月比24.6%減となった。また、対2019年同月比は24.6%減となった。 ・北海道内における自動車保有台数(普通・小型・被牽引車)は、対前年同月比0.7%増となった。また、対2019年同月比は2.4%増となった。
	新規届出(軽自動車)	・北海道内における届出台数は、対前年同月比2.8%減となった。また、対2019年同月比は10.1%減となった。